

Pick up Contents !!

● ふくまち大学

ふくまち大学とは、福井駅周辺を中心とした「まち」を舞台に広がる学びの場です。



「ふくまちらボ」始動!

「ふくまちらボ」は、まちの景色をつくることを目指す実践型プログラムです。「わたし」の「してみたい」という思いを起点に、所属や立場を超えて、さまざまな参加者が、テーマに関わる地域課題に向き合いながら、「プロジェクトの企画」や「はじめの一歩」を踏み出すことにチャレンジしています。令和6年度は「交通まちづくりの未来」をテーマに活動し、参加者12名が3チームに分かれて成果をとりまとめ報告しました。報告会には、交通事業者や企業関係者ら約50名が参加し、公共交通の活性化や今後の展望について意見交換を行い、それぞれの考えを共有し理解を深めました。



「はじめての公共交通」開催!

「ふくまちらボ」の取組の中で、小学校低学年の子どもたちが公共交通に親しんでもらうための乗車体験イベント「はじめての公共交通」を開催しました。見守りスタッフが付き添いつつ、子どもだけでドキドキしながら「はじめて一人で電車に乗ってみる」ことにチャレンジしました。



● 足羽川のにぎわい創出

足羽川周辺は、令和6年3月にキャンプ、バーベキュー、SUPなどのアクティビティを楽しむことができる拠点施設ヨリバ(YORIVER)がオープンした注目のエリアです。足羽川の河川敷や水辺で、堤防をキャンパスに見立てた河川敷アート、ホップスコッチ(けんけんば遊びのようなもの)の設置や、新たに階段護岸や多目的広場等の整備を行いました。引き続き、多様な楽しみ方ができる通年型の親水アクティビティパークに磨き上げていきます。



● 足羽川桜並木再生へクラウドファンディング実施中

足羽川堤防の桜並木は、昭和27年の福井復興博覧会に災害復興のシンボルとして市民から集めた浄財によって植樹されました。市民の手によって植えられ大切に育てられてきましたが、老衰が始まり、桜が少しずつ無くなりつつあります。法の規制により同じ場所に新たに植えることができないため、「強剪定」という処置を行っています。強剪定とは、衰退した幹や枝を伐採し、桜の萌芽成長を促すものです。令和6年から5年計画で実施しており、頂いたご支援は強剪定に係る費用に活用しています。



福井まちなかのこれからをお届けします

No.
03
2025.09

県都グランドデザイン ニュースレター

FUKUI GRANDDESIGN
NEWSLETTER



「県都グランドデザイン」とは?

「誰もが主役に!楽しさあふれる県都」を将来像に、福井まちなかに「たのしみ」「くらし」「しごと」の場をつくり、場のにぎわいがまた新たなにぎわいの場を呼び込む持続的な好循環を創出することを目的とした、民間と行政が一体となって策定した県都の将来構想です。

お問合せ先

まちづくり福井株式会社
〒910-0006
福井県福井市中央1丁目2番1号 ハビリン3階

✉ granddesign@ftmo.co.jp
☎ 0776-30-0330

あなたの声、お聞かせください。

県都グランドデザインの
公式WEBサイトはこちらから



<http://www.ftmo.co.jp/granddesign/>

【発刊】県都にぎわい創生協議会
(福井商工会議所・福井県・福井市)

これからのふくい、わたしの関わり方

福井まちなかの動き

Around 2030, in Fukui.
"Future vision"

令和6年3月16日の北陸新幹線福井開業に伴い、福井のまちなかが大きく変わりました。そして今現在、たくさんのプロジェクトが進んでいます。これからも変わり続けるまちなかを、どうぞご期待ください。



まちなか全体の動き

食

越前おろしSOBARプロジェクト

そばと肴と地酒を楽しめる越前おろしSOBAR(ソバル)認定制度でまちを盛り上げています。

場づくり

ふくまち大学の開講 (裏面詳細)

- まちなか歴史スポット映像の制作
- ふくチャリの運用
- ふくトックの運行
- はびバス・恐竜列車・恐竜バスの運行

周遊

個別プロジェクト

1 県都まちなか再生ファンド R4~8

まちなかの持続可能なにぎわいを創出するため、まちの魅力向上に寄与する店舗の改修等に支援しています。令和5年度からは、「観光誘客に資する洗練された店舗等整備支援事業」など大型整備に特化した補助メニューを新たに創設し、エリア価値の磨き上げにつなげています。(令和4~6年度の事業認定数37件)



2 福井駅前電車通り北地区B街区市街地再開発事業 R8 完成予定

福井駅前電車通り北地区B街区市街地再開発事業では、電車通りに面した商業施設の更新に加え、医療・福祉施設等を整備し、都市機能の更新を図るとともに、新たな集い・賑わい・憩いのある交流拠点の創出を目指しています。

3 福井駅前南通り地区市街地再開発事業 R11 完成予定

福井駅前南通り市街地再開発事業では、「食と健康のストリート」をコンセプトに、居住者は健康で快適に暮らせるよう、また、市民や来街者は福井の食・歴史・文化に触れ、福井らしさを体験できるような賑わいと交流の拠点の形成を目指しています。

4 灯の回廊の整備 R6~7

県内外から訪れる多くの来街者に、足羽川や浜町エリア、足羽山の回遊を促すため、愛宕坂へつながる桜橋線を歩きやすい歩道に整備するとともに、桜橋高欄の塗り替えや、夜間景観の向上のため照明設備を新たに設置します。

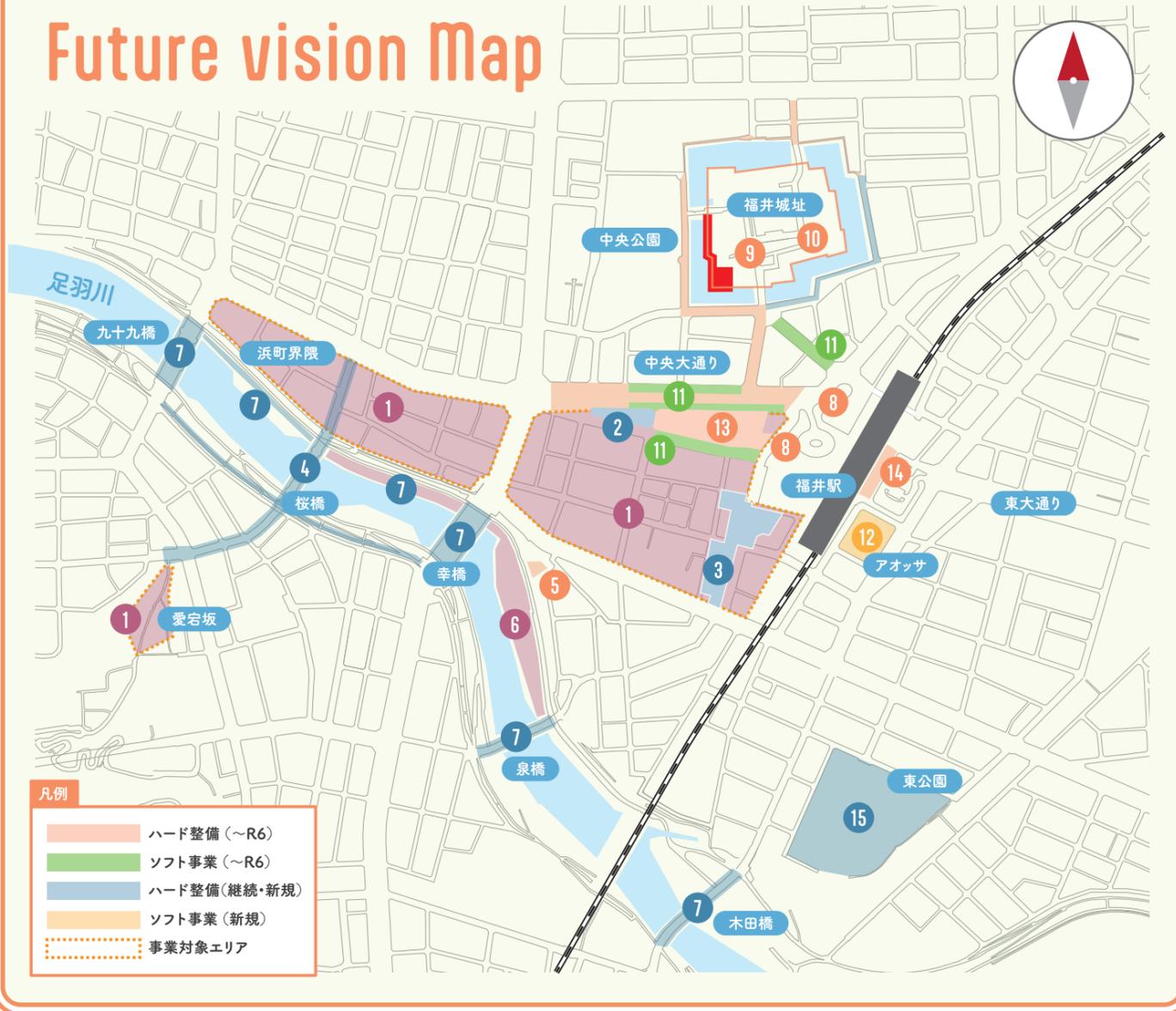
5 「ヨリバ」のオープン R6

足羽川アクティビティ拠点施設「ヨリバ」が令和6年3月にオープンし、SUPや川遊び、キャンプ、BBQなどのアウトドアイベントが気軽に楽しめるようになりました。また、カフェでは福井の美味しい食材を使った手作りのおむすびやドリンクなどを提供しています。



6 足羽川のにぎわい創出 (裏面詳細) R5~

Future vision Map



7 足羽川ライトアップ R7~

足羽川の遊歩道や河川敷をライトアップするとともに、木田橋から九十九橋の5つの橋をあかりでつなぐ「光の川・ライトブリッジ構想」を進め、美しい夜間景観が楽しめます。



8 福井駅周辺の恐竜コンテンツ拡大 R5~6

「恐竜王国ふくい」を強く印象付け、「福井に来た」というワクワク感を醸成するため、福井駅周辺に恐竜ロボットやモニュメント、デジタル技術を活用したVRや3Dホログラムなどを集中配置し、来街者たちをお出迎えています。



9 坤櫓および本丸西側土塀の復元整備 R7~R11

福井城址の歴史的価値や魅力を高めるため、現在は坤櫓や本丸西側土塀の復元を進めており、令和7年度はお堀を埋め立てる工事を行っています。早期復元のための寄付も受け付けており、頂いたご支援は復元に係る費用に活用いたします。完成:令和11年度(予定)



10 福井城址石垣のライトアップ R5~

笏谷石の石垣を毎日ライトアップ(毎月カラー変更)しており、光に照らされた石垣がお堀の水面に映り込む夜景を楽しめます。点灯時間:日没~22時(毎日)



11 ふくみちの本格始動 R6

福井駅周辺の中央大通りと県庁線・電車通り北側において、国の「歩行者利便増進道路(ほこみち)」制度を活用し、居心地がよく歩きたくなる空間づくりを目指す「ふくみち」が本格スタートしました。



12 福井県立大学福井まちなかキャンパス R9~

国内外の地域課題をテーマとした演習や実践的な教育を実施するため、アオッサに福井県立大学のキャンパスがオープンします。本キャンパスは地域政策学部地域イノベーション学科の1学科体制で、入学定員は70人です。1年次は永平寺町の永平寺キャンパスで経済学の基礎などを習得し、2年次からまちなかキャンパスでフィールド演習やデータ分析を学ぶことになります。(令和9年4月使用開始)

13 FUKUMACHI BLOCKの誕生 R6

北陸新幹線福井開業に合わせ、通称「三角地帯」の再開発により生まれた「FUKUMACHI BLOCK」は、ホテルやオフィス、フィットネスジムのほか、福井の食が勢ぞろいするフードホール「MINIE」、音楽ライブやイベントが楽しめる「ULO」などで構成されており、誰もが楽しい時間を過ごせる複合施設となっています。



14 福井市観光交流センターの開業 R5

コンシェルジュによる案内や、県内観光地のパンフレット配架、周遊切符の販売など、福井の旅情報を余すところなく紹介。屋上では家族愛がコンセプトの恐竜などがお出迎えしてくれます。



15 東公園再整備・アリーナの整備

北陸新幹線開業後の更なる交流人口の拡大のため、立地を活かして集客を図ることでまちなかににぎわいを創出します。スポーツやコンサートなど多目的に利用できる福井アリーナ(仮)を整備します。